

地震体感アンケート

- 発生日時 : 平成15年5月26日
午後6時24分頃
- 震源地 : 宮城県沖
- マグニチュード : 7.0
- 震源の深さ : 約70km



| | |
|----------|---|
| 件名 | 古川みなみ保育園 |
| 場所 | 宮城県古川市 |
| 構造・規模 | RC 2F 基礎面積 8 6 5 m ² |
| 震度 | 震度 5 |
| 設計者のコメント | 次の日に保育園に状況を確認したところ、船のようなゆっくりとした揺れだったとの回答でした。物が落ちたりすることもなかったようでした。 |



| | |
|----------|--|
| 件名 | 気仙沼調剤薬局 |
| 場所 | 宮城県気仙沼市 |
| 構造・規模 | S 2F 基礎面積 1 4 1 m ² |
| 震度 | 震度 5 |
| 設計者のコメント | 震源に近いので、ある程度覚悟していましたが、2階の倉庫の薬箱が少し崩れた程度でした。 |



| | |
|----------|--|
| 件名 | わんや産婦人科 |
| 場所 | 宮城県古川市 |
| 構造・規模 | S 2F 基礎面積 6 1 0 m ² |
| 震度 | 震度 5 |
| 設計者のコメント | 揺れた割りには、物が壊れたりといったことはなかった。ゆっくり揺れたということかもしれません。 |



| | |
|----------|---------------------------------------|
| 件名 | 松田歯科医院 |
| 場所 | 宮城県仙台市 |
| 構造・規模 | S 1F 基礎面積 2 0 1 m ² |
| 震度 | 震度 5 弱 |
| 設計者のコメント | ガラスのカーテンウォールが気になって確認しましたが、器具の損傷もなかった。 |



| | |
|-----------|---|
| 件名 | さくらサービスセンター |
| 場所 | 宮城県大河原町 |
| 構造・規模 | RC 1F 基礎面積 473m ² |
| 震度 | 震度 5 弱 |
| 施設職員のコメント | ゆっくりとした揺れだったので外に避難することは考えなかった。テーブルの上の物がすべり落ちることもなかった。自宅に帰ったら本棚が倒れていた。 |



| | |
|----------|---|
| 件名 | Y 邸 |
| 場所 | 宮城県塩釜市 |
| 構造 | 木造 2F |
| 震度 | 震度 5 弱 |
| 建築主のコメント | ウィングラスが倒れただけで他のものは、落ちたり倒れたりしなかった。近所の家はいろいろあったようだ。 |



| | |
|----------|--|
| 件名 | 田子希望園 |
| 場所 | 宮城県仙台市 |
| 構造 | RC 2F 基礎面積 708m ² |
| 震度 | 震度 5 弱 |
| 建築主のコメント | 一応、園児の安全を考えて外に避難しましたが、物が落ちたりといったことはありませんでした。 |



| | |
|----------|-----------------------------------|
| 件名 | 新田こぼと園 |
| 場所 | 宮城県仙台市 |
| 構造 | RC 1F 基礎面積 1 0 3 3 m ² |
| 震度 | 震度 5 弱 |
| 建築主のコメント | 玄関においていた花瓶も倒れず、何も問題は ありません。 |



| | |
|----------|---|
| 件名 | O 店舗 |
| 場所 | 山形県山形市 |
| 構造 | S 3F 基礎面積 1 3 8 m ² |
| 震度 | 震度 5 弱 |
| 設計者のコメント | 建築主に確認したところ、1Fのコンビニの 倉庫に横においていた酒が割れたとの事で 他に被害はなかった。 |



| | |
|---------------------|---|
| 件名 | 河北 TBC 利府住宅展示場 A 社 |
| 場所 | 宮城県利府町 |
| 構造 | 木造 2F |
| 震度 | 震度 5 弱 |
| モデルルーム 担当社員のコメント | ワイングラスが倒れただけで他には何もな かった。外に避難するほどの揺れではなかつ た。 |

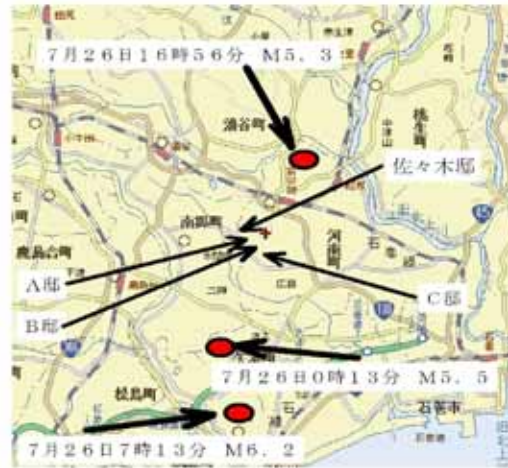
コロンブス工法地震聞き取り調査 宮城県北部地震

(株)ピーエルジー

2003年7月26日 00時13分 震源の深さ：12km マグニチュード：5.5
 2003年7月26日 07時13分 震源の深さ：12km マグニチュード：6.2
 2003年7月26日 16時56分 震源の深さ：12km マグニチュード：5.3
 8月18日佐々木様邸聞き取り調査

| | |
|-------------------|---|
| コロンブス工法採用経緯 | 水田を埋め立てた後、杭を打って住宅を建てたが不同沈下した為、基礎をコロンブス工法で作直した。聞いたことの無い工法なので不安もあったが松山町の建売住宅で採用されていたこともあり採用を決めた。 |
| 佐々木様邸の位置 | 佐々木様邸は旭山の北西（南郷町と涌谷町に近い）に位置している。 (右図参照) |
| 7月26日地震時の佐々木様邸の様子 | 額縁が1つ落ちた。大きな人形が棚から落ちた。 内装の損傷は無い。(塗り壁) サッシや戸の閉まり具合が悪くなった箇所も無い。 (不同沈下していた時は、家の中の戸は自動ドアのように開いた。) タンスが倒れることも、テレビ台からテレビが落ちることも無かった。 屋根瓦が損傷・落下することも無かった。 建物自体は5cm程度地盤ごと北側に動いていた。 自宅は大丈夫だったのでボランティアで他の家の片付けを手伝った。 |
| 佐々木様邸の近隣の様子 | 瓦屋根はほとんどの住宅で損傷し(写真A邸B邸C邸)ブルーシートにて養生されている。旭山の西側の傾斜地にある家は土砂崩れの影響で住める状況に無い。(写真C邸) 佐々木様は、以前今の住まいから400m位南側に住んでいた。(A邸に住んでいた)そこは、住所は南郷町であり孫が小学校に通学するのに遠くて不便なので、水田を埋め立て住所が河南町である現在の土地に家を建て引っ越した。以前住んでいた家(A邸)には都会から来た方が住んでいる。 地震直後、佐々木様が以前住んでいた家(A邸)の状況を見に行ったそう。その様子について、佐々木様のコメントは以下のとおりである。 「家具の倒壊・食器・置物などの飛散によりとても住めるような状況ではない。我が家に避難するようA邸の方に声をかけた。家は大体同じような規模・間取りなのにこんなに被害が違うものだろうか。昨年コロンブス工法で不同沈下修正工事をしていなかったら同じような被害に遭ったかと思うとぞっとした。」 |
| 聞き取り調査後の感想 | 突然の訪問で話が伝わるかどうか不安だったが、ご年配の方にもかかわらずコロンブス工法をすぐに思い出していただけた。それだけ真剣に選択して頂いたのだと思う。 |

震源分布並びに、佐々木様邸位置



佐々木様邸



A邸



B邸

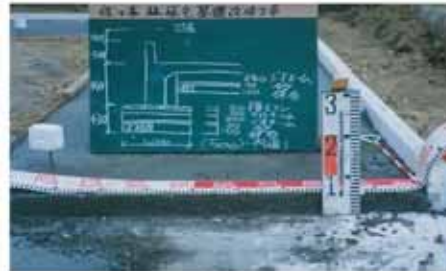


C邸

佐々木様邸 不同沈下改修工事施工写真 『コロンブス工法』



梁下ジオフォーム設置



梁下調整コンクリート



スラブ下ジオフォーム設置



スラブ配筋・スラブコンクリート打ち